

第 1 1 回

那須塩原市下水道審議会資料

－ 目 次 －

1. 財政シミュレーションについて	
1-1. 前回審議会における選定結果	1
1-2. 下水道使用料の改定方法の比較	2
1-3. 使用料体系のあり方について	4
2. 審議会答申書の構成について	5
3. 今後のスケジュール	6

平成 22 年 12 月 20 日



那 須 塩 原 市

1. 財政シミュレーションについて

1-1. 前回審議会における選定結果

①管渠・処理場の更新は、道路陥没や処理機能停止等のリスクとコストとのバランスを考慮し、平均耐用年数で更新する案を採用します。採用する建設改良費予測グラフを図-1 に示します。

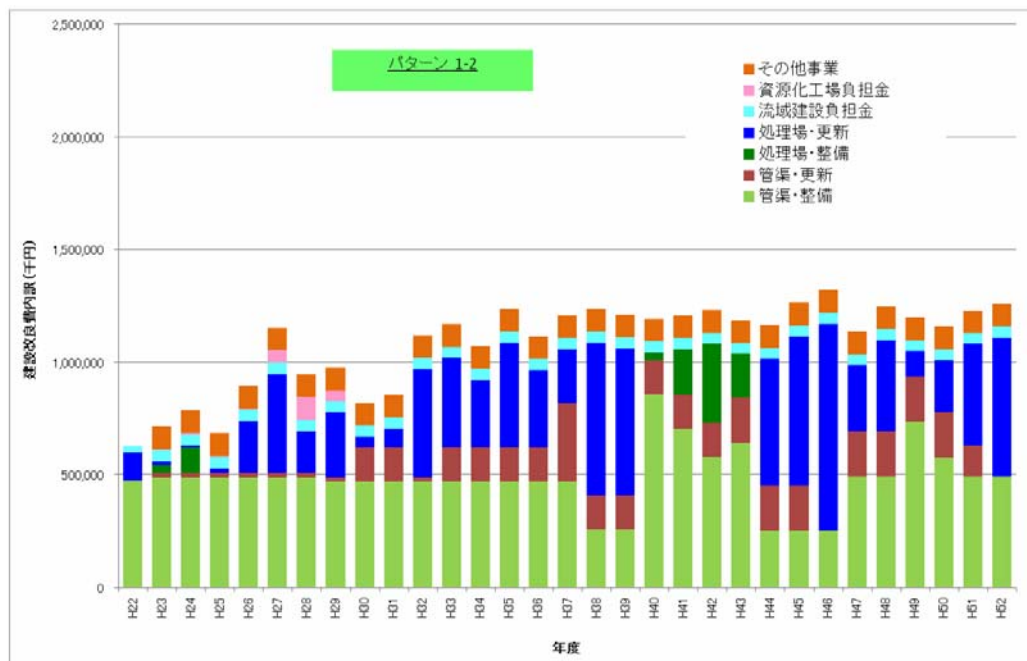


図-1 建設改良費の予測 (パターン1-2)

②下水道使用料については、基準外繰入金の解消を考慮し、長期的に収支バランスが取れるように改定していくとともに、資本費平準化債の活用により費用負担の平準化を考慮する方針とします。ただし、一括して改定するか、段階的に改定していくかは今後の課題です。各改定案における使用料収入・繰入金の予測グラフを図-2 及び図-3 に示します。

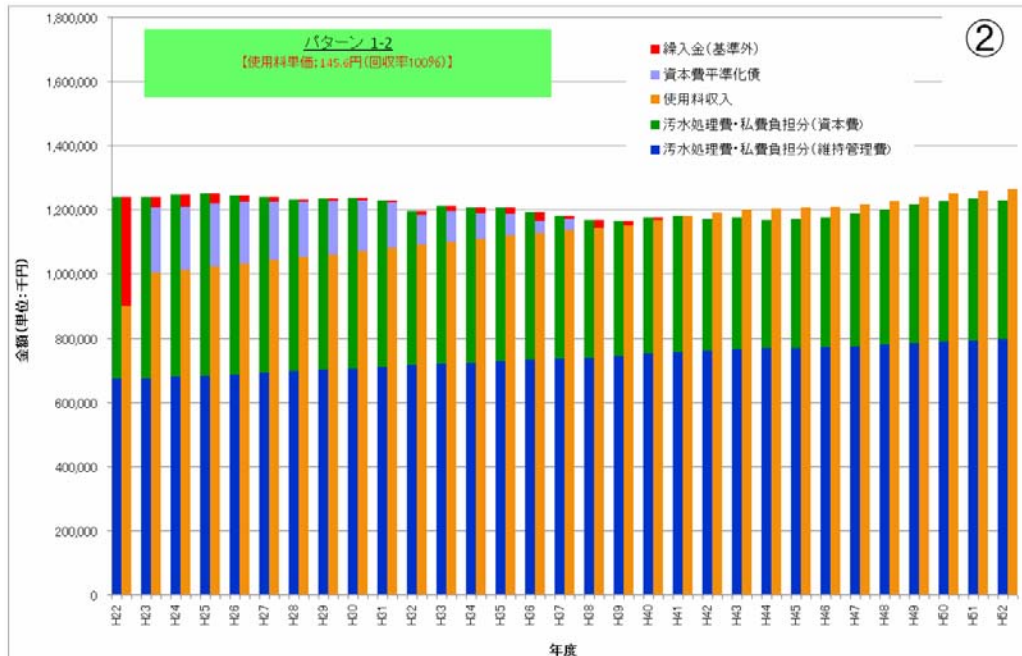


図-2 汚水処理費と使用料収入・繰入金の予測（パターン1-2・一括料金改定案）

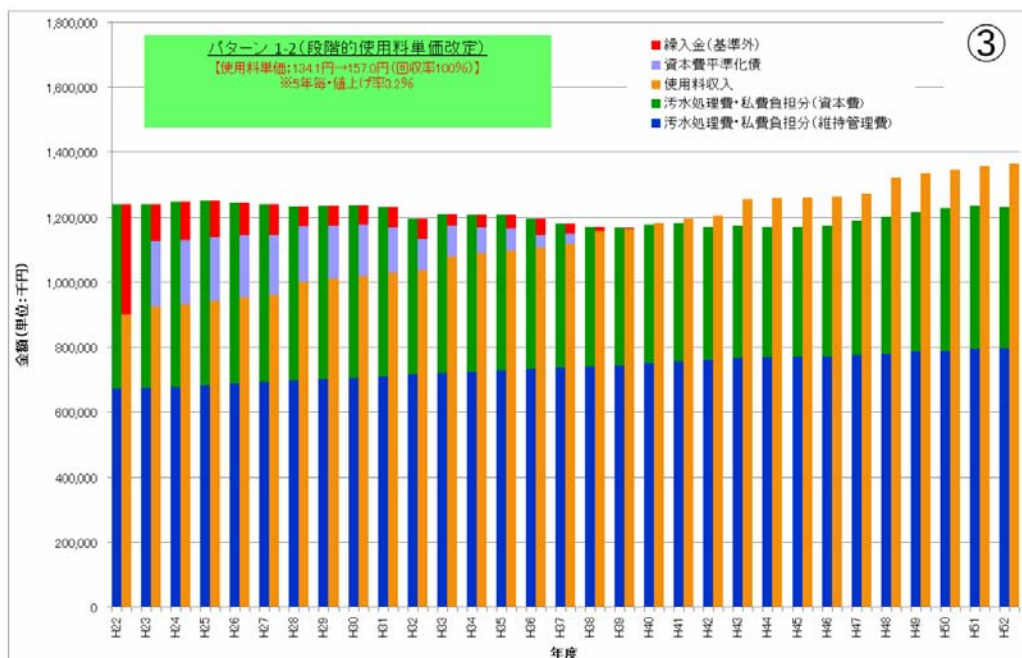


図-3 汚水処理費と使用料収入・繰入金の予測（パターン1-2・段階的料金改定案）

1-2. 下水道使用料の改定方法の比較

下水道使用料の改定方法について、一括して改定していく場合と、段階的に改定していく場合について比較します。

下水道使用料改定案の比較表を表-1 に示します。

表-1 下水道使用料改定案の比較

改定案	概要	使用料単価(円/m ³)						汚水処理原価(円/m ³)			経費回収率(%)			基準外繰入金総額(億円)				月20m ³ 使用時の使用料増加分
		H23~H32		H33~H42		H43~H52		H23 ~H32	H33 ~H42	H43 ~H52	H23 ~H32	H33 ~H42	H43 ~H52	H23 ~H32	H33 ~H42	H43 ~H52	合計	
		~H27	~H32	~H37	~H42	~H47	~H52											
現行単価		129.9									87.7	88.3	91.4	13	14	10	37	—
①一括改定案	計画の当初のみ改定する案	145.6 (15.7)						171.8	151.2	142.2	98.3	98.9	102.4	2	1	0	3	314円増
②段階的改定案	5年に1回、段階的に改定していく案(1回当り改定率;対前年比3.2%)	134.1 (4.2)	138.4 (8.5)	142.8 (12.9)	147.4 (17.5)	152.1 (22.2)	157.0 (27.1)				92.0	98.6	108.7	8	2	0	10	84円~542円増

※使用料単価は、長期(30年間)の経費回収率を100%とする場合の数値

※使用料単価の()内の数値は、現行単価に対する増加額

①一括改定案の場合

- ・使用料単価(3地区平均)は、現行から15.7円/m³(約12%)改定する必要が生じるが、その後の大きな改定は必要ない。
- ・基準外繰入金は、累計で現行の37億円から3億円にまで圧縮でき、H43以降には基準内繰入金のみで賄うことが出来る。

②段階的改定案の場合

- ・使用料単価(3地区平均)は段階的に改定されるため、短期的に見ると利用者の負担増を軽減できるが、H38以降の単価は高くなる。
- ・基準外繰入金は、短期的(H23~H32)に見ると13億円から8億円までしか圧縮されないが、H43以降には基準内繰入金のみで賄うことが出来る。

◆上記①、②の基準外繰入金の解消後については、20年にわたり繰り入れられた基準外繰入金累計額に達するまでは毎年の余剰額を一般会計へ繰り出しするが、基準外繰入金累計額を超えた時点で収支を精査して使用料水準の見直しを検討する。

1-3. 使用料体系のあり方について

①下水道使用料の現況と課題

那須塩原市における下水道使用料の状況（体系、単価）は以下のとおりとなっています。

表-2 那須塩原市の下水道使用料体系

単位:円

地区名		黒磯地区	西那須野地区	塩原地区
基本使用料		(10m3) 1,223	(10m3) 1,155	(10m3) 1,050
1m3 につき	11～30	123	115.5	105
	31～50	132	126	
	51～100	143	136.5	
	101～500	153	147	
	501～1000			94.5
	1001～			84

表-3 那須塩原市の下水道使用料単価（H21年度・現年分）

地区名	黒磯地区	西那須野地区	塩原地区	合計
有収水量(m3)①	3,490,050	2,438,807	984,564	6,913,421
使用料収入(調定額)(円)②	481,679,930	316,269,208	99,129,190	897,078,328
使用料単価(円/m3)②÷①	138.0	129.7	100.7	129.8

※上表の使用料単価は調定額ベースで算定しているため、実収入額とは若干異なる。

本市における下水道使用料の状況から、次の課題が挙げられます。

本市における使用料体系の課題

- ・ 3地区の料金水準が異なるため、地区間に料金格差がある。

なお、水道料金については、H22.12（又はH23.1）検針分から統一した水道料金を適用することとなっています。

②今後の対応について

本市における使用料体系の現状と課題から、今後の対応として以下の事項が挙げられます。

那須塩原市の使用料体系における今後の対応

- ・ 3地区における料金格差の是正について、今後の使用料改定の中で料金統一を検討していくことが望ましい。

2. 審議会答申書の構成について

本審議会における答申書の構成案を下記に示します。

那須塩原市下水道審議会答申書 構成案

はじめに

1. 下水道整備のあり方

- (1) 下水道中期ビジョンの位置づけ ※中間答申書の通り
- (2) 基本理念 ※中間答申書の通り
- (3) 基本方針 ※中間答申書の通り
- (4) 今後の施策 ※4つの基本方針を踏まえ、今後実施すべき施策について記述
- (5) 生活排水処理構想
 - 1) 集合処理区域の選定 ※中間答申書の通り
 - 2) 検討結果 ※中間答申書の通り

2. 下水道経営のあり方

- (1) 下水道財政の見通し ※下水道事業費の平準化やリスクとのバランス等を踏まえ、今後の下水道財政の見通しについて記述
- (2) 下水道経営のあり方 ※基準外繰入金の解消や下水道使用料の改定等を踏まえ、今後の下水道経営のあり方について記述

3. 下水道審議会のまとめ

※2年間審議した「今後の下水道事業のあり方」について、「下水道整備のあり方」と「下水道経営のあり方」を踏まえ、総括して記述

3. 今後のスケジュール

下水道審議会の開催予定時期及び審議事項を以下に示します。

回数	開催時期	審議内容
第1回	平成21年 5月11日(月)	①委嘱状の交付、会長・副会長の選出、諮問 ②下水道事業の現状説明
第2回	平成21年 6月29日(月)	①下水道関連施設（塩原水処理センター、黒磯水処理センター及び東部地区浄化センター）現場見学
第3回	平成21年 8月18日(火)	①現地視察の確認と課題の整理 ②「都市計画マスタープラン」及び「環境基本計画」の概要説明 ③下水道の将来像 ④優先的課題への対応 ⑤今後のスケジュール
第4回	平成21年 10月26日(月)	①生活排水処理構想作成方針、全体計画見直し案の提示 ②優先課題に対する対応方針 ③今後のスケジュール
第5回	平成21年 12月21日(月)	①集合処理と個別処理の費用負担の比較について ②下水道中期ビジョンの基本理念と基本方針案 ③今後のスケジュール
第6回	平成22年 2月15日(月)	①合併浄化槽に関する方針、雨水整備の方針 ②生活排水処理構想、全体計画見直し内容 ③下水道中期ビジョン(現状と課題・今後の施策の体系) ④パブリックコメントについて ⑤今後のスケジュール
第7回	平成22年 4月30日(金)	①パブリックコメント結果報告 ②中間答申（案）について ③今後のスケジュール
第8回	平成22年 5月31日(月)	①生活排水処理構想、共下水道全体計画の見直し内容について ②下水道事業の経営状況について ③今後のスケジュール
第9回	平成22年 8月23日(月)	①下水道中期ビジョンの実施状況について ②下水道事業の現状と経営の見通し（財政シミュレーション） ③今後のスケジュール
第10回	平成22年 10月15日(金)	①バランス(コスト～事業効果～リスク)を考慮した事業計画検討 ②下水道事業の経営の方向性 ③今後のスケジュール
第11回	平成22年 12月20日(月)	①財政シミュレーションについて ②審議会答申書の構成について ③今後のスケジュール
第12回	平成23年 1月28日(金)	①下水道中期ビジョン（案）について ②パブリックコメントについて
第13回	平成23年 3月3日(木)	①パブリックコメント結果報告 ②審議会答申書（案）について
第14回	平成23年 3月28日(月)	①下水道中期ビジョンについて ②審議会答申書について ③答申